

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 4 月 14 日

事務事業名		健康推進員会事業		事業区分		担当	
				新規/継続	継続	事務事業No.	020101000326
				単独/補助	単独		040401
政策体系		政策体系上の位置付け		主要事業	対象外	所属課	健康推進課
総合計画の施策名		0201 健康づくりの推進		市長マニフェスト	対象外	グループ	健康づくり
政策名		02 安心と安らぎのある健康福祉社会づくり		未来PJ事業	対象外		
施策名		01 健康づくりの推進		合併建設計画事業	対象外		
基本事業名		01 健康意識の啓発と健康づくりの推進					
		財務会計上の位置付け		事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計
	01	04	01	02	02	00	保健事業
法令根拠						単年度繰返し (平成18年度~)	
						← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>地域住民と保健行政との連携を図り、全ての市民が健やかで心豊かに活力を持って生活でき、主体的に健康づくりに取り組めるように支援することを目的として平成18年度に設置された。内容は乳幼児健康審査・市民健康講座等の健康教室・市民祭・がん検診普及等健康増進事業への協力、健康づくり事業周知・啓発及び、地域住民のニーズの提供・行政との連絡調整等。</p> <p>各行政区長推薦により定数182名を、平成24年度から、各行政区長推薦120名と一般公募30名の150名として改正。健康推進員ひとりあたり、年間5,000円の報酬費を支払う。</p>		<p>市は、事務局として会の運営の支援、連絡会議(年1回)、代表者会議(年4~5回)の開催推進員活動のPRのほか、任期(2年)の交代時の区長への推薦依頼を取りまとめ、その他の活動支援。報酬の支払い。</p>	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> <li>健康推進員連絡会議の開催</li> <li>代表者会議の開催年3~4回</li> <li>健康推進員会研修会の開催年2回</li> <li>健康づくり会議への参加</li> <li>区長へ健康推進員の推薦依頼</li> </ul>	健康推進員活動日数	日	109.00	167.00	160.00	160.00	160.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
健康推進員	健康推進員数	人	127.00	127.00	127.00	127.00	127.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
市民自らが健康になれるように支援していただくための活動が出来る。	健康推進員延数		511.00	567.00	570.00	570.00	570.00
	自主活動グループ数	か所	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入	事業費	財源内訳	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	期間限定総投入量
量	費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	661	658	686	686	0
		事業費計(A)	千円	661	658	686	686	0
人件費	費	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	
		述べ業務時間	時間	693.00	855.00	700.00	700.00	700.00
		人件費計(B)	千円	2,010	2,480	2,031	2,031	2,071
		トータルコスト(A)+(B)	千円	2,671	3,138	2,717	2,717	2,071

事業費の内訳	28年度事業費 実績 (千円)			29年度事業費 予算 (千円)		
	科目	金額		科目	金額	
	01 報酬	635		01 報酬	650	
	08 報償費	6		08 報償費	18	
	11 需用費	17		11 需用費	18	
	合計	658		合計	686	

(4) 当該年度の実施内容

29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主要事業</li> <li>市長マニフェスト</li> <li>未来PJ事業</li> <li>合併建設計画事業</li> </ul>		

事務事業名	健康推進員事業	事務事業No.	20101000326	所属課	健康推進課
-------	---------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	平成18年7月町村合併を機に、従来各町村にあった地区組織を解散し、新たに設置した。2年を任期とし市民を巻き込んでの健康づくりに取り組んでいる。運動グループの自主活動を発足し、地域に運動する場を根づかせ、多くの市民に運動の楽しさを味わってもらっている。また、がん検診の普及啓発を目的に、乳幼児健診時や市民祭などで若い世代に声かけし、子宮・乳・大腸がん等の新規がん検診受診者を増やしている。活動の活性化を図るため、区長推薦のほか一般公募者を平成24年より導入した。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	区長推薦により委嘱をしているが、行政区によっては、仕事や家庭の事情で担い手がないのが現状。新任で65歳、再任で70歳までの年齢制限があり、この年齢ではまだ勤めていてなかなか引き受けてもらえないと区長からの意見がある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	会員間でも、健康推進員としての意識や活動時間に差が生じているので、その差をどううめていくかが課題である。
改革改善を行う	

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 桜川市第1次総合計画の施策体系「健康づくりの推進」の事業である「健康づくりボランティア育成事業」である。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 健康づくりは、市民一人一人が主体となり、健康に対する意識の向上と健康づくりの取り組みが出来ることが大切で、市民と行政のパイプ役として必要である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 会員の意識、仕事や家庭の事情等で、健康推進員の活動意欲に差がみられる。地区の代表者が中心となり、研修会を開催し会員の意識啓発を図り、充実したやりがいのある活動に発展させていく。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 地域での健康づくりの担い手が無くなり、地域のニーズや市民の要望が行政につながりにくくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 保健事業のパイプ役として、健康づくりの中心となり活動する組織はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 報償費・食料費のみであるので削減余地はない。事務局は年1回の健康推進員連絡会議の資料作成や研修会・代表者会議の業務にあたっているため、削減は難しい。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 行政区ごとに区長から推薦を受けているので、市内ほぼ公平に選出されている。また、平成24年度以降の改正についても活動を希望している有志を広報誌で公募しているため、公平公正と言える。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	健康推進員として、若い世代へがん検診や運動の推奨を活動の柱に据え活動した。なお、健康推進員の活動紹介を目的に「広報さくらがわ」に掲載し、活動のPRに努めた。次年度はさらに健康推進員の活動に対する意識を高め活動していく。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
健康推進員としての意識や活動に差が生じているので、その差をどううめていくかが課題である。また、健康推進員が地域でも活動できるような活動をしていきたい。	(6) 事務事業優先度評価結果																							
	成果優先度評価結果																							
	コスト削減優先度評価結果																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>